

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かみひこうき野作		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 9日 ～ R7年 4月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	0
○従業者評価実施期間	R7年 4月 12日 ～ R7年 4月 18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象児童が楽しく安全に過ごせるように、職員間で話し合いを行っている。	朝のお送り時や、帰りのお迎え時には本日の対象児の様子や、またお家での対応の仕方のヒントを頂いたりして、支援の向上に努めています。	保護者様から参考にさせて頂いた対処法などを全職員に周知し、ミーティングの議題として取り上げ、話し合いを行う。
2	保護者様が悩みや困りごとを相談しやすい環境作りが出来ている。	普段からこまめにLINE したり、対象児の様子をお聞きして交流を深めている。また、利用した日の写真を必ず次の日に送る様にしています。	保護者様との信頼関係をさらに深めるため、何か相談事があれば、家族支援としてご自宅までお伺いし対応させて頂く日を作ります。
3	一人一人に寄り添った支援を出来る職員が多い。	毎日の振り返りや今日どのような支援をしたらよいかなど朝のミーティングで必ず話し合っている。また、療育記録として残し支援の質の向上を目指している。	職員の質の向上を目指し、研修や勉強会の回数をもっと増やす。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	未就学児が一人なので、一緒に遊ぶお友達が少ない。	幼稚園や保育園などとの交流の場が少ないこと。	地域連携として、色々な幼稚園や保育園と交流する場を設けたり、利用児のきょうだいとも楽しめるような催しを行う。
2	対象児に関しては、まだしっかりと歩行が出来ない中、大きいお友達が多いので危険が伴う事が多い。	フローアがもう少しスペースに余裕があればいい。限りあるスペースを上手く使えていない時がある。	限りあるスペースをもっと有効的に使えるようにこどもが遊ぶスペースの確保、安全を意識して職員が行動する。
3	未就学児が一人という事と、対象児が発達遅滞のあるお子さんだったので、見合った支援を出来る職員が少ないと感じた。	未就学児が少ないので職員の教育や指導が難しい。	今後、未就学児が増える事を見込んで、職員には研修や勉強会の機会を多く設ける。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かみひこうき野作		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 3日 ～ R7年 4月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	R7年 4月 7日 ～ R7年 4月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・チームワークがよく、職員間の情報共有や意思疎通がスムーズに行われている。 ・こどもの特性を理解して臨機応変に行動できる職員が多い。 ・責任感が強く業務に限らず、子どもに対して寄り添った支援を行える職員が多い。	・毎朝必ず社訓を読みあげ、志気を高めている。 ・職員間での申し送り事項や連絡がスムーズに行えるようにLINE連絡を徹底している。 ・毎朝、朝礼で前日の振り返りと今日の支援についての段取り等を密に職員間で話し合っている。 ・失敗を恐れず色々な事にチャレンジしている。	・職員のスキルを上げるための研修やミーティングの回数を増やす。
2	・保護者様の信頼関係が構築されていて、保護者様が何事にも協力的である。 ・保護者様と送迎時や居宅訪問、お迎え時などを含め、電話やLINEでもこまめにやりとり出来ている。	・子どもたちの毎日の写真をLINEで保護者に送っている。 ・保護者様が困っている時は、ご自宅まで行って家族支援として居宅訪問を行っている。 ・保護者様同士が交流出来るように定期的に懇親会を行っている。	・保護者間の交流をもっと深められるように、懇親会の回数を増やしたり、きょうだい間でも交流出来るような行事を考える。
3	・代表(社長)との信頼性も構築されていてより職員間の雰囲気よく、利用児にもそれが伝わっている。 ・職員がとても仲がいい。	・職員間で困りごとや悩みなどを話しやすい環境作りを心掛けている。 ・定期的に施設長と職員とで個人面談を行っている。	・さらに職員間での信頼関係が深まる様に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・細かなミスや忘れ物等が多くなっている。今一度職員間で密な話し合いが必要と感じています。	・保護者様がとても柔軟に対応して下さいるので、つい職員が甘えてしまっている部分はあるかもしれません。	・ヒヤリハットを職員間で議題にして改善点を話し合う。 ・ミスを一人一人の職員が受け止め、自責の気持ちを持って次の支援の向上を目指します。
2	・フロアが人数に比べるとそれほど広くないので、こども達が安全に過ごせるような環境調整が必要です。	・まだまだ職員一人ひとりのポジショニングが確立されていない。	・職員間で今一度子供たちの動線等の確認、ポジショニングの強化を目指し、話し合いをし改善を目指します。
3	・保護者様との交流やきょうだい間の交流の場が少ない。	・日中にお仕事をされている保護者様が多いため、開催が難しい。	・保護者様のご都合のいい日をあらかじめアンケートで集計し、出来るだけ参加者の多い日を交流会や懇親会の日に設定し、保護者様にどんどん発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かみひこうき野作

公表日 R7年5月9日

利用児童数 30

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2			走り回れるスペースが確保されていて伸び伸び過ごすことが出来ていると思う	今後も子供たちが安全に遊べるよう十分なスペースを確保します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1	送迎が男性職員だと話しにくい	人員配置は適切に対応できているが、利用児が多い時に、さらに児童の安全を一番にポジションングするよう心がけます。 毎回は難しいが出来るだけ女性職員が行けるよう対応します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		1	勉強する部屋があるので良いと思う	まだまだ子供が過ごしやすい環境作りが出来ていない所があります。職員間で十分な話し合いを行い改善に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2			よく見てくれています	今後も子どもたちの特性に応じた対応を心がけます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1		2		保護者様が分かりやすいように、支援プログラムをお便りやSNS等にもっと記載していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15			1	毎回しっかり作ってくれています。	子どもやご家族のニーズにこたえ、支援を計画していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1	よく子どもの事を見て下さっていると思う。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1		1		日々、個別支援計画に沿った支援が全職員に行き渡るよう努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			1	年齢が上がると公園遊びは楽しくないようです。	公園や外出など、無理強いせず、楽しく過ごせるように他に活動を提供するようにします。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10		1	5	人が多い所が苦手な子もいるので、今ぐらいがちょうどいいと思います。	貴重なご意見だと思います。この意見を踏まえて今後のイベント等考えたいと思います。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				時間をかけて説明してくれました。	今後も引き続き丁寧な説明をします。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1		1	モニタリングをきっちりして下さい。	今後も引き続き丁寧な説明をします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3		2	ペアレントトレーニングの事は他で知りました。低年齢の時に知りたかった。	ご家族様に対する研修会や一緒に参加できるような勉強会などの開催を目指します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16				男性職員だと相談しにくい。	男性職員でも保護者様と信頼関係を築けるように今一度職員間で話し合い改善に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	1	1	モニタリング等で定期的に面談があり悩みを聞いてくれるのでありがたいです。	保護者様ともしっかりと子育てに関する助言やこまめな申し送り等を行い、支援の質の向上を目指します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				皆に愛されていると感じ嬉しいです。	嬉しいお言葉と感じ、今後も子ども一人一人に寄り添った支援が全職員に出来るように努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3		5	兄弟向けのイベント（ミニ運動会や夏祭りなどあったら楽しいと思う。 保護者会の回数を増やして欲しい。	保護者様同士の交流として懇親会は行っていますが、さらに保護者様同士の交流を深められるようなイベントや、きょうだいで楽しめるような催しを考え増やそうと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			1	子どもが不安に思った事を伝えと早く対応してもらえて助かる。	ご家族様のご相談など、事業所や居宅訪問による家族支援を行っていることをもっと知ってもらい、さらに実践します。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		3	LINEで写真を送っていただけるのは他のデイではないので利用の決め手になった。	イベントの様子などは今まで通りLINEやSNSで発信し保護者様にも情報共有できていますが、その他の情報に関しては発信できていない事もあるので、今後改善します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				Facebookなどでもスタンプで顔を隠すなど配慮している。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		4		マニュアルを作成し、職員の研修や職員、子どもの訓練は実施していますが、保護者様に対しての周知・説明は不十分だったかもしれません。改善に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		4	定期的に避難訓練があります。	上記にも記したように職員や子どもの訓練はを実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				安全には気を配っていると思う。	今後も子供の安全を十分考え、対応していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	小さな傷でもすぐに対応してくれます。	事故や怪我が起きないように細心の注意を払いながら支援して行きます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1		1	学校を休んでも行きたがるので安心できる場になっている。	今後も不登校のときは、子どもに寄り添い支援して行きます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15			1	学校へ行くよりも楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			コメントはありませんが花丸してくれています。親身になって相談に乗っていただけるのでありがたい。	保護者様や子どもに今以上に信頼関係を築けるように支援をして行きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
かみひこうき野作		R7 年 5月 9日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			子どもによって遊びたい事が違うので一つのフロアーを三つのスペースに分けて工夫した。また、こどもが自然に分かれるように職員も誘導出来ている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		空気の入れ替えを定期的に行う必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			個別室やカームダウン室があり、こどもが必要と感じた時に使用できている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			職員間での申し送りや話し合いがきちんとして行われている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			保護者様の意見、懇親会等での意見を参考に支援に役立っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			・施設長と職員で個別に面談を行っている。 ・月一のミーティングを行い、朝も毎日朝礼や振り返りを行うなど話しやすい環境である。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			日々、こどもの振り返りを行い記録し、朝礼で話し合いを行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			療育記録に個人の目標を表記し常に職員が計画に沿った支援を目指しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			それぞれ活動を考えていて話し合う場を設けている。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		個別での対応は皆が活動中はなかなかゆっくり時間を設けられない時もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			毎朝必ず朝礼を行い、今日はどのように支援したらよいか、また前日の振り返りを行い次の支援につなげるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		送迎時間の兼ね合いもあり、支援終了後は話し合う時間はなかなか取れないが、LINE連絡で必ず申し送りを徹底している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			全てこちらが決定してしまうのではなく、こども自らで自己決定できるような支援を心がけている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		就学前の園との連携や情報共有までは難しい状況です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		・活動の中で公園に行く機会がありその際に交流する姿が見られる。 ・学童や児童館等ともう少し交流を深められるようなイベントを考えたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			ご要望があれば居宅訪問やお電話などで適宜支援を行っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		懇親会などで保護者間の交流を行う機会は設けているが、きょうだい間で楽しめるイベントはあまりできていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			ヒヤリハットを記録したり何かあった時は情報共有している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			